

**TPP学習会 第1弾**

# 私たちのくらしとTPP

## 開国？壊国？ちょっと待って！

東日本大震災の発生により先延ばしになっていたTPP論議も野田首相の交渉参加表明によっていよいよ現実味を帯びてきました。

けれど、TPPとは何か？関税撤廃や規制緩和により私たちのくらしがどう変わるのか？などまだまだわからないことが多く、朝日新聞の調査でも野田内閣の情報提供が「不十分だ」と答える人が84%にも上っています。農業中心に語られがちなTPPも、実はくらしの中のさまざまな分野に関わってきます。くらし全般に及ぶTPPの影響を、新聞、テレビ、集会等で活発に発言されているTPP推進派の山下一仁氏と反対派の鈴木宣弘氏と共に身近な視点で考えてみましょう。

**日時** 2月13日(月) 13:30~16:00

**会場** 東京都生協連会館 3階

**講師** 山下一仁氏 (キャノングローバル戦略研究所 研究主幹)

鈴木宣弘氏 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

### 講師プロフィール

#### 山下一仁(やました かずひと)氏

経済産業研究所 上席研究員。キャノングローバル戦略研究所 研究主幹。

専門は食料・農業政策、中山間地域問題、WTO農業交渉、貿易と環境、貿易と食品の安全性。

1977年に東京大学法学部卒業、農林省入省。

1982年にミシガン大学行政学修士、1982年にミシガン大学応用経済学修士、2005年に東京大学博士(農学)

農林省において以下を歴任。ガット室長、地域振興課長、食糧庁総務課長、農林水産省農村振興局整備部長、農林水産省農村振興局次長。

#### 鈴木宣弘(すずきのぶひろ)氏

1958年生まれ。専門は農業経済学。三重県出身。東京大学農学部卒。1982年農林水産省入省。九州大学農学部助教授、教授を経て、2006年から東京大学大学院農学生命科学研究科教授。日中韓、日コロンビアFTA産官学共同研究会委員、関税・外国為替等審議会委員。主著に、『震災復興とTPPを語る—再生のための対案』(共著、筑波書房、2011年)、『TPPと日本の国益』(共著、大成出版、2011年)、『食料を読む』(共著、日経文庫、2010年)、『現代の食料・農業問題—誤解から打開へ』(創森社、2008年)等。

#### 問合せ・申込み

東京都生協連 那須、川延

TEL 03-3383-7800

FAX 03-3383-7840

託児あり 1才以上 10名

定数を超えた場合はお断りすることがあります。

